

# 波音

なみおと



清水海岸だより

第13号



## 第13号の内容

- 特集：『三保鎌ヶ崎の景観整備』
- 清水海岸事業ファイル⑪

PHOTO：窪田 敏

## 三保の自然を題材にした絵画シリーズ(11)

狩野探幽(かのう たんゆう)

### 『富士山図』

寛文7年(1667年)

三保松原先端には群れ飛ぶ白鶴。和歌の聖地=住吉浜、蓬萊山、中国の瀟湘八景など理想の風景を富士に重ねた探幽のユートピア・イメージ。数多い探幽の富士図中、最高峰の作品。

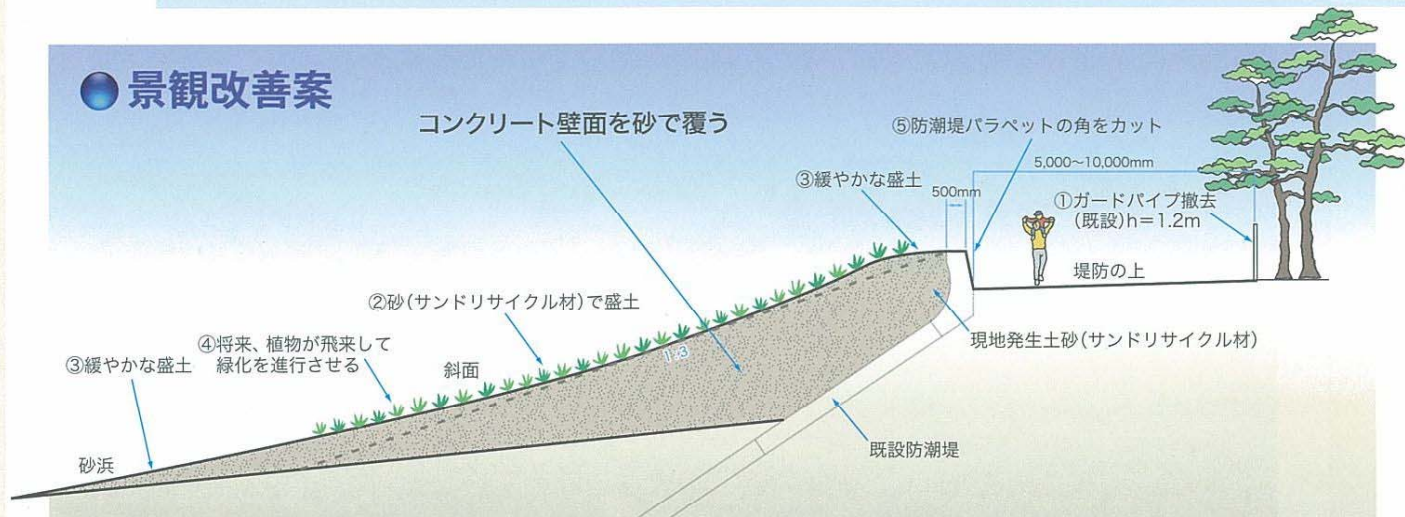


静岡県立美術館収蔵品

# 特集 三保鎌ヶ崎の景観整備

羽衣の松から東に約500mに位置する鎌ヶ崎から眺める富士山の風景は、三保半島の中でも屈指の景勝地として、古くから多くの来訪者に感動を与えてきました。しかしながら、戦後に建設されたコンクリート防潮堤は、富士山の景観の妨げになってきました。

## ● 景観改善案



- ① 既設のガードパイプ(h=1.2m)は撤去する。
- ② 砂(サンドリサイクル材)盛土の勾配は1:3より緩傾斜とし、富士山や周辺の景観に配慮してアンジュレーション(起伏)をつける。
- ③ 防潮堤パラベットの天端付近と、盛土下端付近は、特に緩やかに砂を盛る。
- ④ 砂盛土については、将来的に飛来する植物などが生息しやすいように、専門家と協議して勾配やアンジュレーションをつける。
- ⑤ 北側のスロープと接する防潮堤パラベットの角は、景観に配慮して斜めにカットする。



県では、平成20年度に東京工業大学大学院の齋藤潮教授にアドバイスをいただき、鎌ヶ崎の景観を最大限に生かすため、人工物は造らず、自然にとけ込んだ景観づくりの検討を行いました。その結果、養浜の土砂の盛土方法などを少し工夫することで、景観の改善ができる等の検討結果が出されました。この検討結果に基づき、平成21年度には養浜工事を行い、平成22年度には老朽化したフェンスの撤去を実施しております。

また、三保の松原を愛する地域のボランティアNPO法人『三保の松原・羽衣村』の方が集まり、鎌ヶ崎で下草刈りを行いました。これによって、松の成長が促進されるとともに、鎌ヶ崎の景観の改善が図られています。

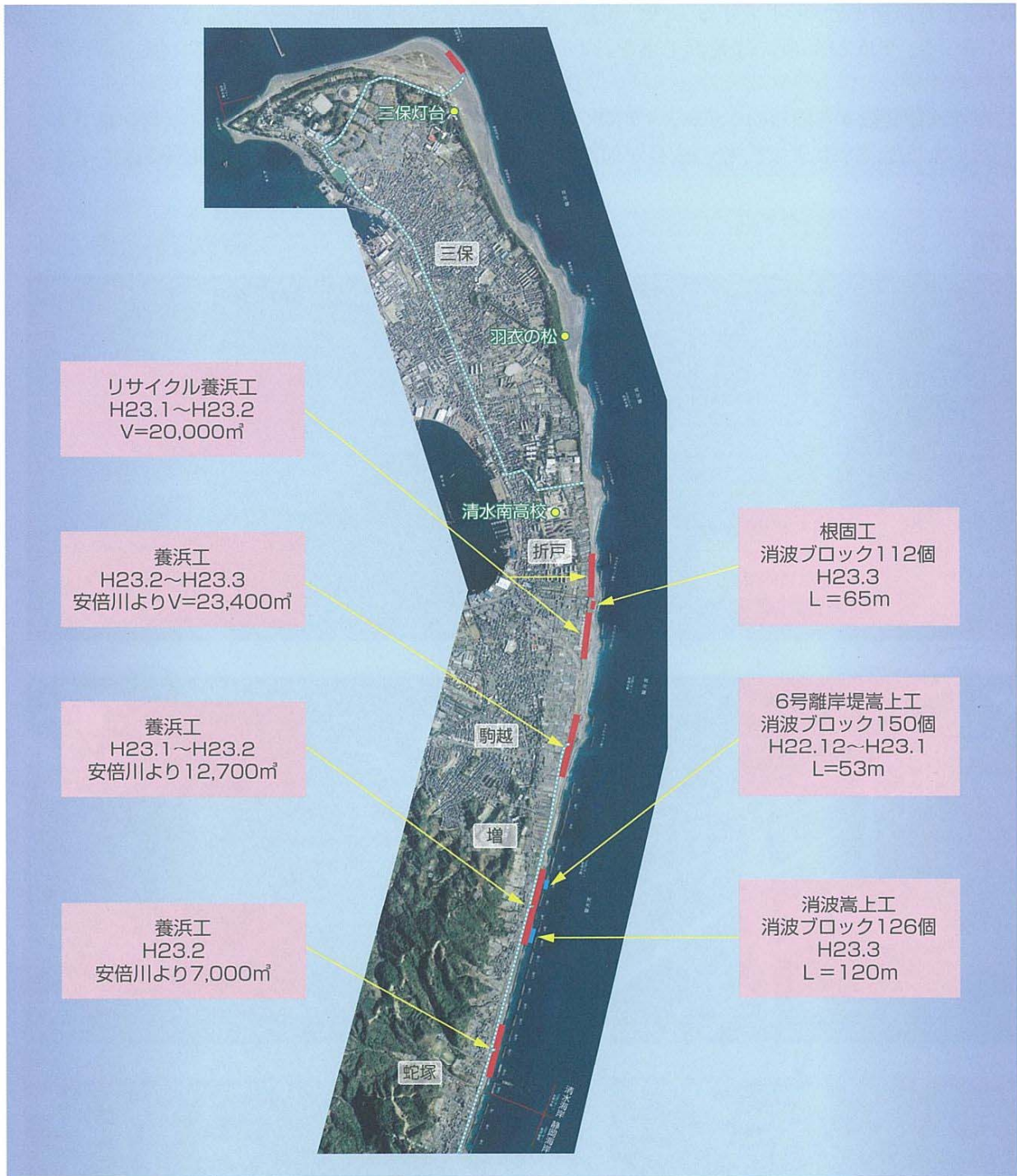
## ● 改修前



## ● 改修後



## 清水海岸の事業概要 (平成22年度)



**Shimizu Kaigan Dayori NAMIOTO** お問い合わせ、ご意見はこちらまで



New Public Engineering for SHIZUOKA  
**いっしょに、未来の地域づくり。**  
 静岡県交通基盤部

静岡県静岡土木事務所  
 静岡市駿河区有明町2-20 (〒422-8031)  
 TEL 054-286-9156 FAX 054-286-9100  
 URL <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-850/>  
 E-mail [shizudo-kouji2@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:shizudo-kouji2@pref.shizuoka.lg.jp)

